

日経
NIKKEI
CONSTRUCTION

CONSTRUCTION

特集

笹子の衝撃 七つの教訓

独自の検証で浮かび上がった維持管理の盲点

■ NEWS焦点

国交省の補正予算は 「史上最大規模」

■ 特別レポート

2011年度会計検査報告

■ インタビュー / 阿部允・BMC社長

「全て点検」で事故はなくせない



基礎・地盤

■ 中掘工法

TAIP工法

●特徴

TAIP工法は特殊ヘッドを使用し掘削水を吐出しながら中掘り掘削圧入を行い、所定深度まで沈設後、セメントミルクを噴出攪拌して先端根固め球根を造成する信頼性の高い工法である。又、本工法は「道路橋示方書」に適合する鋼管杭の中掘り工法であるとともに、旧建設大臣の認定を取得した中掘り認定工法である。

現在、全国81社からなるTAIP工法協

会を通して全国的に施工できる体制が整備され、施工技術、信頼性の向上が計られている。

●実績

土木工事から都市建築物などに至るまで、すでに全国で8,800件を超える施工実績を有する。最近では中掘り鋼管矢板施工に多く採用され、斜杭施工に優れた工法として注目されている。



斜杭(15度)施工

TAIP工法協会

事務局

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-1-1
田辺浜町ビル ジャパンパイル(株)内
TEL.03-5843-4199 FAX.03-5651-1906
URL: <http://www.taipkouhou.com>

■ 防塵固化材(粉塵の発生を抑制した地盤改良材)

テフロン®処理防塵固化材

《特徴》 テフロン®ふっ素樹脂の発塵防止技術による、ほこりのたたない土質安定材料である。テフロン®処理防塵固化材を用い地盤改良を行えば、現地土の有効利用を図るとともに、周辺環境の保全と作業環境改善、作業員の健康管理にも有効である。特別な取扱い等の必要はなく、乾燥状態で使用できるため対象土の含水比を高めることなく、添加量も通常の固化材と同様で利用できる。また、セ

メント系から石灰系までラインナップを揃え、幅広い土質に対応できる。《施工方法》 路床路盤安定処理工法、路上再生路盤工法、浅層混合処理工法、住宅基礎地盤改良工法等、現位置で固化材の散布、混合を行う工法やプラント混合に適用し、特に粉塵を嫌う市街地や住宅密集地、果樹園や茶畑、食品工場や精密機械工場等に隣接した現場での施工に適している。



従来の固化材



テフロン®処理防塵固化材

テフロン®処理防塵固化材協会

協会事務局(カナダ(株) 産業プロセスマテリアル部)

〒103-8413 東京都中央区日本橋本町1-4-12
カナダ日本橋センタービルディング
TEL.03-5200-1325 FAX.03-5200-1326
URL: <http://www.tef.jp/>
E-mail: info@tef.jp